

暮らし・福祉・教育優先の市政をめざして

みんなが
住んでよかつた
と思える川西市に...

たんぽぽだより

日本共産党川西市議会議員 黒田みち

市議会議員控え室 TEL 740-1111 (内線4020)

直通FAX 759-1811

黒田みち事務所 TEL 795-4760

たんぽぽだよりブログ

http://kurodamich.exblog.jp



想定外の自然災害と感染大爆発に遭遇した今 これまで通り「病院再編計画」を進めているのか

3項目で質問

9月議会でも私(黒田)は、①保健所を持たない自治体として市民の安心につながる体制の構築を、②特別定額給付金事業の総括と「世帯主」規定の廃止にむけた取り組み、③パンデミックや大きな自然災害を乗り越える医療体制の構築へ現行計画の再検討、の3項目で一般質問を行いました(市議会ホームページで動画配信されています)。

質問にあたって私は、各種資料(別項)を作成。傍聴者の方にもわかるようにお渡ししました。

3項目の質問中、一番大きな問題は世界を震撼させている新型コロナウイルス感染症(パニック)への対応策。秋冬にかけてインフルエンザの感染と重なり患者の増加や医療現場のひっ迫が心配されます。近年の自然災害による被害を踏まえ国や県が見直した新しい市のハザードマップ。今夏、九州・東北を襲った豪雨被害をみても、防災・減災のため

突然、2017(H29)年に指定管理者制度導入の話が出てから、2019年3月の病院職員全員解雇以降、入院・外来患者さん減り続け、4階・北病棟閉鎖、看護師体制10:1の現在に至るのか、を問いかけてきました。改善できていません。

新病院計画の懸念

突然、2017(H29)年に指定管理者制度導入の話が出てから、2019年3月の病院職員全員解雇以降、入院・外来患者さん減り続け、4階・北病棟閉鎖、看護師体制10:1の現在に至るのか、を問いかけてきました。改善できていません。

高度医療も担うとしている新病院の医師・看護師など医療スタッフの確保はできるのでしょうか。93%の入院稼働率で経営が成り立つとしていますが大丈夫でしょうか。パンデミックや災害時の受入れはできるのでしょうか。

急病ベッドを減らす危うさ

高度医療も担うとしている新病院の医師・看護師など医療スタッフの確保はできるのでしょうか。93%の入院稼働率で経営が成り立つとしていますが大丈夫でしょうか。パンデミックや災害時の受入れはできるのでしょうか。

また、開業医の誘致計画も進んでいません。ひよっとして、「外来患者の減少に伴う外来機能の縮小」の考えがあるので、という疑いも持ちかねない

なぜ、「3択」を示さない

また、北部から二次救急病院がなくなる代替えとして、内科24時間対応と外来機能を果たすとしていた「北部診療所」計画が白紙になっています。

たんぽぽだよりで何度も報告している通り、市は猪名川町の医療法人晴風園の新病院建設(160床、回復期120・慢性期40床)を軸にした計画か、これまでの北部診療所建設を軸にした計画かの2者択一を市民に迫っていますが、なぜ「両方とも」の選択肢を示さないのか。

基本協定に抵触!

日祝年末年始の応急診療所機能の移転とCT検査もできるとしています。診療所による24時間急病対応はできず、外来機能はまだ決まっています。

「北部診療所」は、市が8億1000万円で建物設備を建設提供し運営は協和会というのが基本協定の内容。もし、診療所を建設しないとすれば、協定違反が問われます。

進まない開業医の誘致

また、開業医の誘致計画も進んでいません。ひよっとして、「外来患者の減少に伴う外来機能の縮小」の考えがあるので、という疑いも持ちかねない

患者数(1日平均・人)、職員数(人)比較

各課外来患者	2016・H28年	2019・R元年
内科	197.8	169.2
外科	65.5	52.1
緩和ケア外科	1.9	1.5
整形外科	59.4	28.1
小児科	35.1	26.3
産婦人科	40.8	29.3
耳鼻咽喉科	11.0	7.2
眼科	15.0	10.9
泌尿器科	30.1	23.9
合計	456.6	348.5
入院患者数	191.2	127.1
分娩数(年間)	160	95
医師	36	31(4月)
看護師	192	141
医療技術者	44	49

患者が減った要因は、右表のよう指定管理者制度導入による医療スタッフ減の影響が大きく、地域に医療機関が充足している訳ではありません。患者が減ったから外来機能を減らすというのは本末転倒。医療の衰退は、町の過疎化をもたらす大問題なのです。

跡地利用
民間法人募集
公有地提供など
優遇措置検討

北部診療所計画
内科3診、整形外科1診、小児科1診
外科等その他1診あわせて診察室6診
観察室8床、薬局、X線撮影室、検査室等
地域住民の安全安心を確保
月～金6診午前診、土日祝3診午前診
内科1診24時間急病体制(土日祝含)
院内開業・支援制度創設
シャトルバス、高額画像機器助成

「配布資料、よくわかる」
今回、傍聴者の方にも配布させていただいた参考資料は以下の通り。
① 新型コロナウイルス感染症の兵庫県・川西市の現況、②保健所と保健センターの違い
③ 新しいハザードマップと近年の浸水被害や道路・交通網の遮断状況(たんぽぽだより216号の付録に加筆して付けています)、④市立川西病院の北部での建替え計画(2015・H27年)から現在までの経緯、⑤北部の医療確保についての計画変更の推移など。
「この資料、とても参考になる」「資料を見ながら発言を聴くので、よくわかる」などのお声をかけていただきました。さらに研鑽・工夫をしていきたいと考えています。